

報道関係者各位

2009年6月22日

神戸医療産業都市にリーブ21研究所を開設

～毛髪形成を自在に制御する技術の開発を目指す～

株式会社毛髪 クリニック リーブ 21(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:岡村勝正、以下リーブ 21)は、2009年7月1日より神戸医療産業都市(神戸ポートアイランド)に研究所を開設し、毛髪形成を自在に制御する技術の開発を目指し、毛包分化メカニズム研究に力を入れてまいります。

*毛包分化とは、髪を作り出している組織が発達する現象

研究所開設の経緯と目的

当社はこれまでに、産学連携での共同研究を行っている他、大阪の彩都(茨木市)に自社研究所を持ち、毛髪メカニズムの解明を進めてきました。今回の研究所開設は、2008年に神戸医療産業都市を視察した際、同地区のライフサイエンス分野における優れた研究・開発環境が、今後の当社の研究事業に必要であると考え、2009年1月には、神戸医療産業都市に当研究所を開設することを決定いたしました。今後、研究で明らかになる知見を応用し、次世代の発毛技術の開発を行いたいと考えます。そして、将来的にはあらゆる抜け毛、脱毛の悩みを個人差なく解消し、100%の発毛を実現するべく邁進していきます。

神戸医療産業都市(神戸ポートアイランド)については2枚目に記載しています。

研究室の概要

名 称 :毛髪 クリニック リーブ 21 研究室
所 在 地 :神戸市中央区港島南町1丁目5番地4号 臨床研究情報センター(TRI)304号室
研 究 内 容 :毛包分化の基礎研究および新規発毛促進物質の探索研究
進 出 時 期 :2009年7月1日(水)
研 究 体 制 :常駐研究員7名

研究テーマ

『毛包分化の基礎研究および新規発毛促進物質の探索研究』

近年、分子生物学の進展に伴い、毛髪関連遺伝子の研究も活発に行われていますが、毛髪形成を人為的に制御することは未だに困難な状況です。同施設では、最先端の再生医療研究、幹細胞研究等の知見を取り入れながら、毛包分化の基礎研究の躍進を図ります。新規発毛促進物質の探索とあわせて、次世代の発毛技術の開発を目指していきます。



【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社 毛髪クリニック リーブ 21 広報部

【神戸医療産業都市構想についてのお問い合わせ先】
神戸市産業振興局企業誘致推進室企業立地課 医療産業都市担当:宮道・森
TEL:078-322-6341 E-mail: medicalkobe@office.city.kobe.lg.jp

神戸医療産業都市

神戸医療産業都市構想は、神戸市が中心となって推進しているプロジェクトで、地域経済の活性化、市民福祉の向上、国際社会への貢献を目標として、神戸港沖の人工島神戸ポートアイランドに、先端医療技術の研究開発拠点を整備し、関西圏の産学官の連携による先端医療技術の産業化を促進することにより、世界的なライフサイエンスクラスターの形成を目指すものです。



本構想は平成 10 年 10 月にスタートし、現在では、ポートアイランドに、臨床研究の中核施設である先端医療センター、発生・再生分野での世界的な基礎研究の拠点である理化学研究所、発生・再生科学総合研究センターや、医薬品開発の時間・コスト削減を図る理化学研究所、分子イメージング科学研究センターなどの中核施設が整備され、154社の医療関連企業・団体が研究・開発、製造等の拠点を設置しています。今後は、新中央市民病院(平成23年稼働)や理化学研究所 次世代スーパーコンピュータ(平成23年一部稼働)の整備により、医療・健康・バイオ関連産業のさらなる集積が期待されます。

これまでに当社が発表した研究論文

髪¹の成長に関する毛包細胞のメカニズムを解明

内毛根鞘の構成成分である AHF (THH) タンパク質が、ヘアサイクルのステージごとで様々な分子制御を受けていることを京都大学との産学共同研究にて明らかにしました。本研究成果は、医学誌『Experimental Dermatology *1』の2009年2月号に『毛包ケラチンフィラメントを制御する AHF/THH (Trichohyalin) 調節因子について (英文タイトル: Molecular elements of the regulatory control of keratin filament modulator AHF/trichohyalin in the hair follicle)』で紹介されています。

*1 医学誌『Experimental Dermatology』(エクスペリメンタル ダーマトロジー)とは、デンマークの Munksgaard 社が発刊している月刊医学誌で、ヨーロッパ免疫皮膚科学会とオーストラリア毛髪羊毛学会の学会誌です。皮膚科学系の国際的な学術論文雑誌の中では、かなりの頻度で他の論文に引用されており、また、皮膚関係の実験医学に関する国際的な学術論文であると認定されています。

GSK3 酵素²の抑制は、毛乳頭細胞³を活性化し、毛包の退縮を遅らせることを発見

『毛乳頭細胞を活性化させる、新規発毛物質の探索』をテーマに京都産業大学と産学共同研究を行い、毛包組織内の GSK3 を抑制すると毛乳頭細胞が活性化し、毛包の退縮を遅らせる効果があることを証明しました。本研究成果は、学術論文誌『Archives of Dermatological Research *2』2009年6月号で紹介されています。

*2 『Archives of Dermatological Research』(アーカイブス オブ ダーマトロジカル リサーチ)とは、1896年にドイツで"Archiv für Dermatologie und Syphilis"として設立され、皮膚の生化学、形態学、免疫学分野と様々な領域の分野を掲載する国際的な学術論文雑誌。

【会社概要】

会 社 名：株式会社 毛髪クリニック リーブ21

代表取締役：岡村勝正

本社所在地：大阪府大阪市中央区城見 2-1-61 ツイン 21 MID タワー22F

設 立：1993 年 11 月

資 本 金：40,000,000 円

従 業 員：1,050 名(平成 21 年 6 月現在)

主要サービス：頭髪の発毛施術サービス

店 舗 数：102 店舗(平成 21 年 6 月現在)